

2019年版「中小企業白書」「小規模企業白書」の概要

2019年版の「中小企業白書」および「小規模企業白書」が平成31年4月26日に中小企業庁より発表されました。2019年版白書では、令和時代を迎えるに当たって求められる、経営者の円滑な世代交代や、経済・社会構造の変化に合わせた自己改革の取組みについて、豊富な事例を交えながら分析を行っています。

本誌では概要について掲載しておりますが、中小企業庁HPにて白書全文をご覧いただけます。ぜひ一読ください。

中小企業庁HP『2019年版「中小企業白書」「小規模企業白書」を公表します』

URL:<https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/190426hakusyo.html>

中小企業・小規模事業者にとっては、人口減少・少子高齢化が最大の課題です。前回の中小企業白書・小規模企業白書では、人手不足に焦点を当てましたが、今回は、新時代を視野に入れ、①経営者の世代交代と、②中小企業・小規模事業者に期待される自己変革に焦点を当てています。

①経営者の世代交代については、事業承継・経営資源の一部承継や多様な創業について、②自己変革については、構造変化に対応する挑戦やそれを支えるステークホルダーとの互恵関係について分析し、解説しています。

白書本文では、具体的な事例が豊富に紹介されており、内容も経営者目線に立った分かりやすいものとなっています。

① 経営者の世代交代

【経営資源の引継ぎ】

全部承継 … 親族内外の類型を網羅した総合的な支援施策を活用し、多くの質の高い事業承継を早めに実現。

一部承継 … 仮に廃業する場合でも、人材や設備等の貴重な経営資源を意欲の高い次世代の経営者に引き継ぐ。
(下記の「経営支援の譲受け」へ繋がる)

【創業】

経営資源の初受け … 初期費用の低い創業の促進が期待される。

副業・フリーランス … クラウド等のICT技術の発展や働き方改革が進展し、リスクやコストの低い創業も容易になりつつある。

② 中小企業・小規模企業経営者に期待される自己変革

【構造変化への対応】

○ 第4次産業革命等が進む中、中小企業は、自身の存在意義が問われる。構造変化に対応した行動変容(デジタル化への対応、オープン・イノベーション、インバウンド需要の獲得等)に挑戦。

○ 大企業や自治体などの周囲の関係者は、中小企業と運命共同体であることを自覚し、主体的に中小企業を支援する等、従来の関係を再構築。

【防災・減災対策】

○ 中小企業強靱化法案を踏まえ、中小企業・小規模事業者は、大企業や自治体などの周囲の関係者の協力を得つつ、減災・防災対策(事業継続力強化に向けた計画の策定・実施、保険加入等)に取り組む。

経営者の世代交代

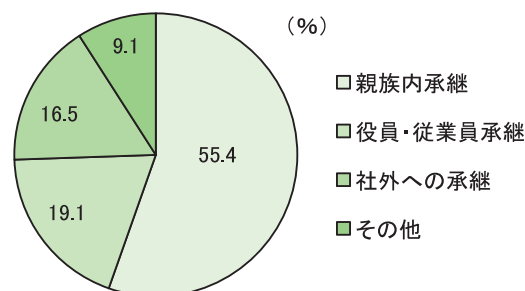
1. 親族内承継の支援措置は大幅に前進。

親族外承継により新事業の展開も期待される。

・これまで、法人向け、個人事業者向けに、贈与税や相続税の負担をゼロにする事業承継税制を措置。親族内承継の支援措置は、大幅に前進。

・今後は、親族外承継も一層推進することが重要。旧経営者の負担が軽減されるほか、新経営者による新たな事業展開も期待される。

図1 事業承継の形態の割合



(注)引退後の事業継続について「事業の全部が継続している」、「事業の一部が継続している」と回答した者について集計している。

資料:みずほ情報総研(株)「中小企業・小規模事業者の次世代への承継及び経営者の引退に関する調査」(2018年12月)